

平成
25年度

予算のお知らせ

さる2月20日の健保理事会、26日の健保組合会にて平成25年度予算が承認されました。

健康保険

▶健康保険財政のしくみ

健保組合の収入は、被保険者と勤務先が支払う保険料がほとんどです(実質収入の98.2%)。

この収入をもとに、主に「3つの事業」を行っており、この事業の支出だけで、保険料収入を上回るため、赤字となっております。

予算の基礎数値 (健康保険)

■被保険者数	7,610人
■平均標準報酬月額	381,240円
■平均賞与月数	2.53ヵ月
■平均年齢	44.50歳
■扶養率	1.05人

このため、過去の黒字分を積み立てた別途積立金から3億3千万円を取り崩し、不足分をまかないますが、残余の別途積立金は減少し続けておりますので、限りがあります。健保財政の健全化が今後の課題と考えております。

①「保険給付」(保険料収入の55.1%)

健康保険法による法定給付のほか、当健保組合独自の付加給付として、一部負担還元金・家族療養付加金・その他3件、合わせて5件の付加金があります。

②「高齢者医療支援の納付金」(保険料収入の44.0%)

前期高齢者医療・後期高齢者医療・旧退職者給付経過措置分の3種類があります。

③「保健事業」(保険料収入の4.4%)

○今年度は「乳ガン・子宮ガン検診」「病状が進行した糖尿病患者対象の専門医紹介および受診勧奨・紹介状

発行制度」を新設します(詳細は別途ご案内いたします)。

○また、新たにインセンティブ制度を設け、被保険者が行う健康増進に役立つウォーキング歩数に応じてポイントを付与し、皆様の活動を援助します(詳細はP4~6)。

○20年度より継続して、40歳以上の加入者(被保険者・被扶養者)の生活習慣病予防を目的に特定健診・保健指導費用の全額を支出し、生活習慣病の減少を図っております。

○その他従来より、「勤務先の健診時に健保組合の負担で行う胃ガン検査・超音波検査・肝炎検査」を実施するほか、大腸ガン検査・人間ドック脳ドック補助・インフルエンザ予防接種補助・24時間無料電話健康相談・被保険者および配偶者の第1子誕生より1年間、育児雑誌「赤ちゃんとママ」の無料送付を実施しています。

○湯桧曾・箱根の2保養所、通年および冬季の契約保健施設(ラフォーレ倶楽部10カ所・他契約7ヶ所)の提供を行います。

以上3事業により、保健事業の質を高め、被保険者および被扶養者の健康増進を図り、疾病の減少を目指します。

▶保険料率について(昨年と同率です)

料率は8.8%に据え置いております(被保険者負担3.45%、事業主負担5.35%)。

▶今後の見通し

支出のほとんどが法律により定められているため、元々健保財政の自由度は極めて少ないのですが、平成22年度より、厚生労働省は本来国費で賄うべき費用を健保組合に肩代わりさせる方式を導入し、結果として健保組合の負担はますます増加し、健保運営の困難さは増大しております。

今回の政権交代後も、この政策に変更はなく、25年度以降も苦しい健保運営が続きます。

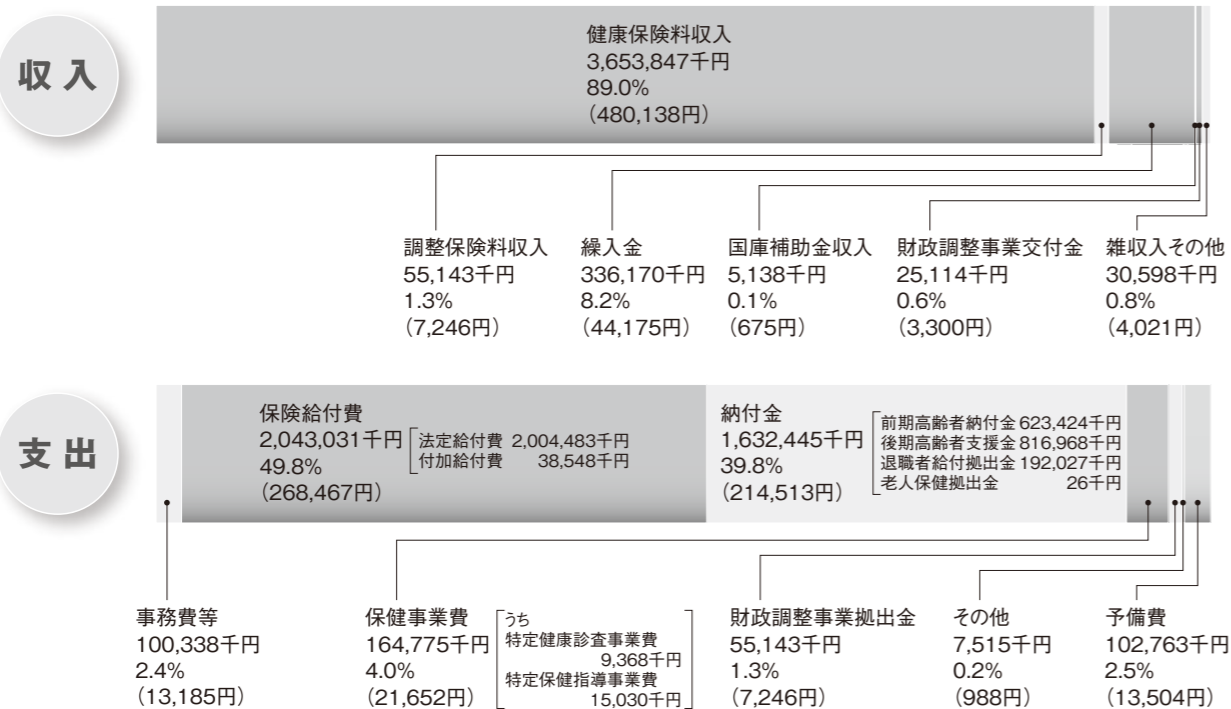
しかし、国全体の医療費が毎年3%上昇し、健保組合平均でも毎年2%ずつ増加している中で、当健保組合の1人平均医療費の増加率は20年度より23年度にかけて減少しており、これは加入者の皆様の保健事業へのご協力と健康意識の現れと考えております。しかしながら、24年度の医療費は増加傾向に転じてしまいました。

当健保組合としては、皆様の健康づくりをさらに推進し、医療費の削減を図り、現行の健保組合制度を維持し、「加入者の健康増進と医療費の相互扶助の実践」を継続していく決意であります。

健康保険

平成25年度収入支出予算 ※()内は被保険者1人あたり

予算額 4,106,010千円



介護保険

平成25年度収入支出予算

予算額 413,805千円 介護保険料は料率を1.4%に引き上げ(+0.1%)となりました。(被保険者・事業主折半負担)



健康保険組合へのお問い合わせは

住所 東京都葛飾区青戸三丁目37番15号 京成青戸ビル7階

電話番号 ●保養所の申込み、人間ドック申込み、各種健診について

03-5629-3525 (鉄道電話3525)

●適用関係について

(健康保険への加入・喪失・扶養・保険料・任意継続)

03-5629-3582 (鉄道電話3582)

FAX番号 03-5629-3587

京成健保ハロー健康相談24 ●通話料・相談料無料/プライバシー厳守

☎0120-24-8656

保養所の申込 ●電話予約「湯桧曾の宿 あべ」 **0278-72-3555**

●電話予約「箱根 金時荘」 **0460-82-2524**

「施設利用申込書」は健保に提出してください

ホームページ <http://www.keisei-kenpo.or.jp/>

●給付関係について

(傷病手当金、出産関係、埋葬料、療養費、高額療養費、付加給付、各種医療助成、交通事故等による第三者行為)

03-5629-3537 (鉄道電話3582)